



玉川上水と昭和記念公園花めぐりウォーク

2015.05.17 普通 16km ゆったり 13km

参加者の皆様へ

- ・主催者は、歩行中の事故について傷害保険に加入している他は応急措置以外の責任は負いません。
- ・スタート前には必ずトイレを済ませてください。
- ・原則として右側通行を遵守し、2列以内で歩きましょう。
- ・一般道を横切の場合は、役員の指示に従ってください。
- ・体調が悪くなったら遠慮せずに役員に連絡願います。

コース紹介

小金井公園前で降車し、公園でトイレと体操を済ませてウォーク開始です。公園を出たら**玉川上水遊歩道**に出て歩きます。上水道左右の高さ10mを超すケヤキや桜の大木を見ながら進みます。玉川上水は深くて流れが見えないので橋を渡って右岸・左岸と場所を変えながら進みます。橋の上から上水の流れを見ましょう。橋のある場所は交差点でもあるので、車に注意してください。津田塾大学近くの**小平市中央公園**で小休止です。昼食が遅くなるのでここで軽食をとりましょう。**小平監視所**を過ぎると**玉川上水駅**(西武拝島線・多摩都市モノレール線)に到着、ここからバスで**昭和記念公園**に行きます。公園の中を花々を見ながら歩き、**[21]みんなの原っぱ**で昼食タイムです。たっぷり時間をとりますので花見や散策をお楽しみください。**昼食後もこの「みんなの原っぱ」の大ケヤキがある場所に集合し**、立川口まで歩いてバスに乗り、羽村市駐車場に行きます。ゆったりコースはここがゴールです。元気な皆さんは片道1.5kmほど歩いて**取水堰(せき)**と**玉川兄弟の像**を見に行きましょう。ゴールは羽村市駐車場です。

国営昭和記念公園

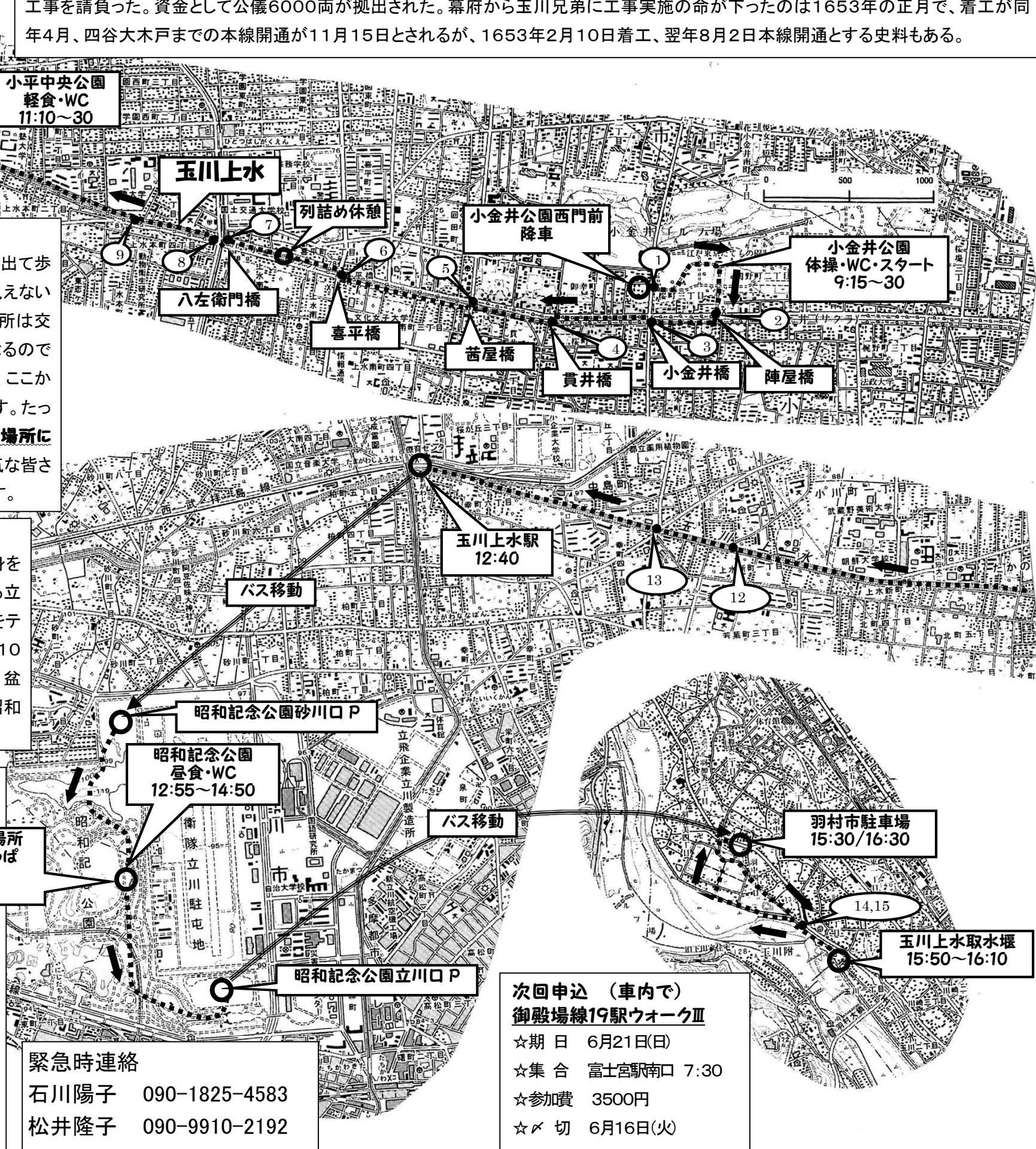
昭和天皇御在位五十年記念事業の一環として、現在及び将来を担う国民が自然的環境の中で健全な心身を育み、英知を養う場とするために、戦後米軍が旧立川飛行場を接收した立川市と昭島市の両市にまたがる立川基地跡地のうち、180haを記念公園として建設することが閣議決定され、「緑の回復と人間性の向上」をテーマに1978年(昭和53年)度より国土交通省の手で施設整備が進められてきた。1983年(昭和58年)10月26日、昭和天皇臨席のもとに約70haで開園した後、レインボープールや子供の森、日本庭園、砂川口、盆栽苑等次々と施設が整備され、2005年(平成17年)11月にはみどりの文化ゾーンが共用され、同時に昭和天皇記念館が開館した。

コース

往路(バス)	富士宮駅南口＝河口湖IC＝中央道＝談合坂SA(WC)＝国立府中IC		
	6:30	8:00～15	
	＝小金井公園(体操・WC)		
	9:15～30		
ウォーク	小金井公園(スタート)・・・玉川上水遊歩道・・・小平市中央公園(軽食・WC)・・・玉川上水駅		
	9:30	11:10～30	12:40
	＝バス＝昭和記念公園(昼食・WC)＝バス＝羽村市駐車場(ゆったりゴール)		
	12:55～14:50	15:30	
	・・・玉川用水取水堰・・・羽村市駐車場(ゴール)		
	15:50～16:10	16:30	
復路(バス)	羽村市駐車場＝圏央道日の出IC＝厚木PA(WC)＝海老名JCT＝富士宮駅南口		
	16:30	20分間	19:00

玉川上水

玉川上水は、かつて江戸市中へ飲料水を供給していた上水(上水道として利用される溝渠)であり、江戸の六上水の一つである。多摩の羽村から四谷までの全長43kmが1653年に築かれた。また、一部区間は、現在でも東京都水道局の現役の水道施設として活用されている。工事の総奉行に老中で川越藩主の松平信綱、水道奉行に伊奈忠治(没後は忠克)が就き、庄右衛門・清右衛門兄弟(玉川兄弟)が工事を請負った。資金として公儀6000両が拠出された。幕府から玉川兄弟に工実施の命が下ったのは1653年の正月で、着工が同年4月、四谷大木戸までの本線開通が11月15日とされるが、1653年2月10日着工、翌年8月2日本線開通とする史料もある。



緊急時連絡

石川陽子 090-1825-4583
松井隆子 090-9910-2192

次回申込 (車内で) 御殿場線19駅ウォークⅢ

☆期 日 6月21日(日)
☆集 合 富士宮駅南口 7:30
☆参加費 3500円
☆× 切 6月16日(火)